

統 計

労働力人口の将来推計

昭和50年7月推計

I 序言

人口問題研究所は、昭和50年2月、新しく『日本の将来推計人口』を発表した。この機会に、新推計を基礎にして、労働力人口の将来推計を行なったのでその概要をここに報告する。詳しくは、人口問題研究所研究資料第211号（昭50.7.31）を参照されたい。

労働力人口の将来推計を行うにあたって、よりどころとなる男女年齢別人口がすでに与えられている場合、中心となる作業は男女年齢別労働力率の将来の水準を予測することである。昨今、産業構造および労働市場の急激な変化に伴って、労働力率の変化も著しいものがあるので、この度の推計では、年次別データがえられる『労働力調査』を基礎資料として用い、したがって算出された労働力率は『労働力調査』ベースのものとなっている。本来、『国勢調査』と『労働力調査』は、労働力率の定義に関して差異はないのであるが、数値的には若干のギャップがみられるのである。

推計方法は後述されているとおりであるが、将来の労働力率を予測するにあたっていくつかの仮定を設定することを避け、ただ一通りの推計値が計算されているだけである。言うまでもなく、将来の状況を適確に予測することは不可能であり、考えうるいくつかの状況を設定してみるのも一つの方法であるが、今回は、近い過去の変化から推して今後10年間にもっとも起こりうべき状況を一つだけ想定して、それに対応する労働力人口を計算した。

将来の変化を見通すについて抛りどころとなっているのは、ひとつには若年層について中学から高校への進学率の上昇の見通しであり、もうひとつは第1次産業就業割合で代表される産業構造の変化の展望である。進学率についてはともかくとして、産業構造の変化は、昨今、日本経済の進路が微妙な段階にさしかかっている折柄、きわめて見通しがむづかしいが、後述のような方法で一応の見通しをたてた。

以上のような次第で、ここに報告する結果は必ずしも確かな予測とは言えないものであるが、今後10年間の労働力人口の推移を見通す資料として読者の御参考になれば幸いである。

II 推計方法

1 推計の方法は次のような手続による。

- (1) 人口問題研究所『日本の将来推計人口—全国男女年齢別、昭和45～125年—』（昭和50年2月推計）に発表されている全国人口推計値のうち中間推計値を基礎人口として採用する。
- (2) 総理府統計局『労働力調査』の昭和40～49年の男女年齢別労働力率の推移を基礎にし、別掲のごとき方法により、将来の労働力率を推計する。
- (3) 人口と労働力率の積により労働力人口を計算する。
- (4) 推計期間は昭和50年から昭和60年までとし、その間を各年次ごとに計算する。
- (5) 年齢階級は15歳から64歳まで5歳間隔とし、65歳以上は一括する。

2 労働力率の推計方法

- (1) 『労働力調査』の昭和40～49年の各年平均の男女年齢別労働力率の推移から判断して、将来の労働力率を推計するにつき次の2群に分類した。

(A) 時系列的変化がきわめて小さく、したがって昭和49年の値を将来に延長して適用できると考えられるもの。

男：25～29歳，30～34歳，35～39歳，40～44歳，45～49歳，50～54歳，55～59歳，60～64歳

女：25～29歳，45～49歳，50～54歳，55～59歳，60～64歳，65歳以上

(B) 時系列的変化が大きく，したがって何らかの方法で将来推計をしないとお考えられるもの。

男：15～19歳，20～24歳，65歳以上

女：15～19歳，20～24歳，30～34歳，35～39歳，40～44歳

(2) 労働力率を別途推計した(B)群について，さらに2群に分け，(a)男15～19歳および女15～19歳は中学校卒業後高校への進学率との関係に基づいて推計するものと(b)それ以外の年齢について農林業就業者割合との関係に基づいて推計するものに分ける。

(3) 男15～19歳，女15～19歳の労働力率の推計方法と結果

(a) 進学率と労働力率との関係

中卒後高校への進学率と15～19歳労働力率との間の関係は最近の数年間ほぼ直線的であり，これを将来に延長推計することが可能であると判断される。男については昭和47～48年の線上に，また女については昭和47～48年の平均値と昭和48～49年の平均値を結ぶ線上に将来の値を読みとることにする。

(b) 将来の進学率の見通し

文部省『学校基本調査』による毎年3月の中学卒業者の高校への進学率（就職進学者を含む）は昭和60年には，男，女とも100%に達するものと仮定し，昭和49年3月の実績値を昭和60年の予測値100%と結んだ線上に将来の進学率を読みとった。その結果えられた各年次の進学率は表1のとおりである。

(c) 将来の15～19歳労働力率の予測

(a)，(b)の手続によって予測された15～19歳労働力率の将来値は表2のとおりである。

(4) 農林業就業者割合との関係に基づく労働力率の推計方法と結果—男20～24歳，65歳以上，女20～24歳，30～34歳，35～39歳，40～44歳—

(a) 農林業就業者割合と労働力率との関係

これらの年齢の労働力率はここ数年間かなり激しい変化を示しているが，その背景に働いている要因を突きとめることは必ずしも容易ではない。ここでは，将来見通しをたてる必要上，その変化が経済的社会的環境の変化によって引き起されているという前提のもとに，一つの代表的指標として就業者総数における農林業就業者割合（男女計）をとり，それと労働力率との間の関係を確認することにする。

『労働力調査』による農林業就業者割合の推移と各年齢労働力率との関係に可能な限り昭和40

表1 進学率の予測値

年次	男	女
昭50	90.0%	92.5%
51	92.0	93.0
52	92.5	93.5
53	93.0	94.5
54	94.0	95.5
55	95.0	96.0
56	96.0	97.0
57	97.0	97.5
58	98.0	98.0
59	99.0	99.0
60	100.0	100.0

推計方法は本文参照。

表2 15～19歳労働力率の予測値

年次	男	女
昭50	24.0%	24.3%
51	21.5	23.7
52	21.2	22.1
53	20.6	21.8
54	19.6	20.5
55	18.6	19.5
56	17.6	18.6
57	16.6	18.0
58	15.6	17.4
59	14.6	16.1
60	13.6	14.8

推計方法は本文参照。

表3 農林業就業者割合の予測値

昭50	11.5%
51	11.0
52	10.5
53	10.0
54	9.5
55	9.0
56	8.5
57	8.0
58	7.5
59	7.0
60	6.5

(注) 労働力調査ベース。計算方法は本文参照。

年以降の全期間にあてはまる回帰線を求め、それが困難な場合は最近の数年間の実績にあてはまる回帰線を求め、この線上に将来の労働力率を予測する。もちろん、この場合、将来の農林業就業者割合を別途予測する必要がある。

(b) 農林業就業者割合の将来予測

昭和40～49年の農林業就業者割合の推移を基礎にして、とくに昭和48～49年の低下を将来に延長して将来年次における農林業就業者割合を予測する。予測結果は表3に示されている。

(5) 総括一男女年齢別労働力率の将来予測一

以上のような方法によって求めた男女年齢別労働力率の将来予測を一括して表示すると、表4のとおりになる。

表4 推計労働力率一男，女，年齢別一

(%)

男	昭50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
15～19歳	24.0	21.5	21.2	20.6	19.6	18.6	17.6	16.6	15.6	14.6	13.6
20～24	78.7	78.5	78.2	78.0	77.7	77.4	77.2	76.9	76.7	76.4	76.1
25～29	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5
30～34	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1	98.1
35～39	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
40～44	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8
45～49	97.2	97.2	97.2	97.2	97.2	97.2	97.2	97.2	97.2	97.2	97.2
50～54	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8	95.8
55～59	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
60～64	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6
65以上	45.0	44.6	44.1	43.8	43.3	43.0	42.5	42.0	41.6	41.2	40.8
女											
15～19歳	24.3	23.7	22.1	21.8	20.5	19.5	18.6	18.0	17.4	16.1	14.8
20～24	65.6	65.1	64.6	64.1	63.6	63.2	62.7	62.3	61.7	61.2	60.7
25～29	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3	43.3
30～34	45.2	44.8	44.5	44.2	43.9	43.6	43.3	43.0	42.7	42.5	42.1
35～39	55.2	55.1	54.9	54.7	54.6	54.4	54.2	54.0	53.9	53.7	53.6
40～44	60.9	60.7	60.5	60.3	60.0	59.8	59.6	59.3	59.1	58.9	58.7
45～49	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7
50～54	57.2	57.2	57.2	57.2	57.2	57.2	57.2	57.2	57.2	57.2	57.2
55～59	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0	49.0
60～64	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7	37.7
65以上	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8

III 推計結果

前節で説明された方法により推計された労働力率を将来推計人口に掛けることにより、将来労働力人口を計算した。

そして、将来労働力人口の推計値は、表5に示されている。労働力人口の推計作業はこれで終了したわけであるが、最後に、推計結果に若干の加工をほどこして、読者の利用の便に供したいと思う。

その第1は、労働力人口の増加率である。表6に昭和50～55年と55～60年の5年間の増加率が計算されているが、これによると、昭和50年代には、全体的にいて労働力人口の増加率は低水準であるが、若年齢層において減少がみられ、中高年齢層においては増加がみられるという対照的なちがいが認められる。また、べ

ピー・ブーム期の出生コーホートが通過する年齢において大きな変動がみられることも注目すべき点である。

第2は、労働力人口の年齢構成である。表7に示されているとおり、全体として大きな変化はないが、次第に若年齢層の割合の低下、中高年齢層の割合の上昇がみとめられるのが特徴的である。

第3に、表8において、労働力人口の男女比についてみておこう。大きな特徴はみとめられないが、15～19歳の年齢層において男女ほぼ同数であり、その他の年齢層においては男子が女子を上まわっている。中年層において男女比はやや上昇みであり、60歳以上とくに65歳以上の高年齢層において低下傾向が顕著である。¹

表5 男女年齢別推計労働力人口

(単位 千人)

年 齢	昭 和 50 年			昭 和 51 年			昭 和 52 年		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
総 数	53,527	33,347	20,180	53,861	33,614	20,247	54,207	33,930	20,277
15～19	1,921	972	949	1,784	865	919	1,719	858	861
20～24	6,585	3,608	2,977	6,273	3,458	2,815	5,977	3,309	2,668
25～29	7,434	5,105	2,329	7,822	5,373	2,449	7,559	5,197	2,362
30～34	6,487	4,414	2,073	6,142	4,189	1,953	6,379	4,359	2,020
35～39	6,403	4,083	2,320	6,501	4,143	2,358	6,634	4,230	2,404
40～44	6,489	3,999	2,490	6,573	4,053	2,520	6,615	4,078	2,537
45～49	5,809	3,511	2,298	5,945	3,604	2,341	6,096	3,700	2,396
50～54	4,320	2,506	1,814	4,608	2,724	1,884	4,861	2,926	1,935
55～59	3,181	1,906	1,275	3,219	1,913	1,306	3,305	1,951	1,354
60～64	2,403	1,534	869	2,431	1,546	885	2,431	1,541	890
65以上	2,495	1,709	786	2,563	1,746	817	2,631	1,781	850

年 齢	昭 和 53 年			昭 和 54 年			昭 和 55 年		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
総 数	54,635	34,259	20,376	55,009	34,556	20,453	55,369	34,852	20,517
15～19	1,692	839	853	1,612	805	807	1,568	782	786
20～24	5,787	3,218	2,569	5,692	3,175	2,517	5,583	3,119	2,464
25～29	7,153	4,925	2,228	6,681	4,611	2,070	6,357	4,398	1,959
30～34	6,741	4,617	2,124	7,072	4,855	2,217	7,494	5,158	2,336
35～39	6,764	4,315	2,449	7,025	4,478	2,547	6,856	4,373	2,483
40～44	6,594	4,065	2,529	6,492	4,006	2,486	6,520	4,024	2,496
45～49	6,241	3,786	2,455	6,333	3,840	2,493	6,436	3,900	2,536
50～54	5,092	3,114	1,978	5,283	3,258	2,025	5,424	3,364	2,060
55～59	3,441	2,028	1,413	3,649	2,168	1,481	3,818	2,303	1,515
60～64	2,433	1,535	898	2,411	1,513	898	2,493	1,552	941
65以上	2,697	1,817	880	2,759	1,847	912	2,820	1,879	941

年 齢	昭 和 56 年			昭 和 57 年			昭 和 58 年		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
総 数	55,632	35,090	20,542	56,012	35,346	20,666	56,424	35,625	20,799
15～19	1,465	728	737	1,443	708	735	1,408	681	727
20～24	5,516	3,091	2,425	5,519	3,098	2,421	5,522	3,110	2,412
25～29	6,095	4,228	1,867	5,845	4,062	1,783	5,691	3,960	1,731
30～34	7,871	5,430	2,441	7,590	5,252	2,338	7,170	4,980	2,190
35～39	6,504	4,152	2,352	6,761	4,321	2,440	7,158	4,579	2,579
40～44	6,620	4,086	2,534	6,753	4,173	2,580	6,886	4,257	2,629
45～49	6,529	3,954	2,575	6,580	3,979	2,601	6,568	3,967	2,601
50～54	5,554	3,454	2,100	5,696	3,547	2,149	5,833	3,631	2,202
55～59	4,076	2,503	1,573	4,306	2,690	1,616	4,515	2,863	1,652
60～64	2,523	1,559	964	2,591	1,592	999	2,698	1,655	1,043
65以上	2,879	1,905	974	2,928	1,924	1,004	2,975	1,942	1,033

年 齢	昭 和 59 年			昭 和 60 年		
	男女計	男	女	男女計	男	女
総 数	56,823	35,913	20,910	57,188	36,193	20,995
15~19	1,341	653	688	1,254	615	639
20~24	5,528	3,122	2,406	5,627	3,185	2,442
25~29	5,632	3,923	1,709	5,555	3,871	1,684
30~34	6,687	4,662	2,025	6,348	4,449	1,899
35~39	7,517	4,817	2,700	7,979	5,118	2,861
40~44	7,150	4,420	2,730	6,980	4,317	2,663
45~49	6,481	3,910	2,571	6,520	3,930	2,590
50~54	5,920	3,684	2,236	6,017	3,742	2,275
55~59	4,687	2,996	1,691	4,815	3,094	1,721
60~64	2,866	1,772	1,094	3,002	1,883	1,119
65以上	3,014	1,954	1,060	3,091	1,989	1,102

表 6 推計労働力人口増加率（5年間の増加率）

(%)

年 齢	昭 和 50 ~ 55 年			昭 和 55 ~ 60 年		
	男女計	男	女	男女計	男	女
総 数	3.44	4.51	1.67	3.29	3.85	2.33
15~19	-18.38	-19.55	-17.18	-20.03	-21.36	-18.70
20~24	-15.22	-13.55	-17.23	0.79	2.12	-0.89
25~29	-14.49	-13.85	-15.89	-12.62	-11.98	-14.04
30~34	15.52	16.86	12.69	-15.29	-13.75	-18.71
35~39	7.07	7.10	7.03	16.38	17.04	15.22
40~44	0.48	0.63	0.24	7.06	7.28	6.69
45~49	10.79	11.08	10.36	1.31	0.77	2.13
50~54	25.56	34.24	13.56	10.93	11.24	10.44
55~59	20.03	20.83	18.82	26.11	34.35	13.60
60~64	3.75	1.17	8.29	20.42	21.33	18.92
65以上	13.03	9.95	19.72	9.61	5.85	17.11

表 7 推計労働力人口の年齢構成

(%)

年 齢	昭 和 50 年			昭 和 55 年			昭 和 60 年		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15~19	3.6	2.9	4.7	2.8	2.2	3.8	2.2	1.7	3.0
20~24	12.3	10.8	14.8	10.1	8.9	12.0	9.8	8.8	11.6
25~29	13.9	15.3	11.5	11.5	12.6	9.5	9.7	10.7	8.0
30~34	12.1	13.2	10.3	13.5	14.8	11.4	11.1	12.3	9.0
35~39	12.0	12.2	11.5	12.4	12.5	12.1	14.0	14.1	13.6
40~44	12.1	12.0	12.3	11.8	11.5	12.2	12.2	11.9	12.7
45~49	10.9	10.5	11.4	11.6	11.2	12.4	11.4	10.9	12.3
50~54	8.1	7.5	9.0	9.8	9.7	10.0	10.5	10.3	10.8
55~59	5.9	5.7	6.3	6.9	6.6	7.4	8.4	8.5	8.2
60~64	4.5	4.6	4.3	4.5	4.5	4.6	5.2	5.2	5.3
65以上	4.7	5.1	3.9	5.1	5.4	4.6	5.4	5.5	5.2

表 8 推計労働力人口の男女比 (男÷女)

年齢	昭和50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
総数	1.65	1.66	1.67	1.68	1.69	1.75	1.71	1.71	1.71	1.72	1.72
15～19	1.02	0.94	1.00	0.98	1.00	0.99	0.99	0.96	0.94	0.95	0.96
20～24	1.21	1.23	1.24	1.25	1.26	1.27	1.27	1.28	1.29	1.30	1.30
25～29	2.19	2.19	2.20	2.21	2.23	2.25	2.26	2.28	2.29	2.30	2.30
30～34	2.13	2.14	2.16	2.17	2.19	2.21	2.22	2.25	2.27	2.30	2.34
35～39	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76	1.77	1.77	1.78	1.78	1.79
40～44	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.62	1.62	1.62	1.62
45～49	1.53	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.54	1.53	1.53	1.52	1.52
50～54	1.38	1.45	1.51	1.57	1.61	1.63	1.64	1.65	1.65	1.65	1.64
55～59	1.49	1.46	1.44	1.44	1.46	1.52	1.59	1.66	1.73	1.77	1.80
60～64	1.77	1.75	1.73	1.71	1.68	1.65	1.62	1.59	1.59	1.62	1.68
65以上	2.17	2.14	2.10	2.06	2.03	2.00	1.96	1.92	1.88	1.84	1.80

(岡崎陽一・山本千鶴子)